

湊地区

地域づくり計画



平成27年3月

湊地区活性化協議会

はじめに

平成16年4月京丹後市が発足し、従前の町行政から市行政へと転換がはかられました。その中で、地域の特質や良さを生かした取り組みを進めていく母体として、平成17年湊地区活性化協議会が結成されました。

活性化協議会の目的は、広域行政対応窓口としてそれぞれの地区の課題、将来に向けての課題や要望のとりまとめ、そして何よりよりよい地域づくりを進めていくことにあります。

久美浜町には、旧村単位に久美浜一区自治振興会、二区地区活性化協議会、川上地区自治振興会、海部地区活性化協議会、佐濃地区活性化協議会、田村地区活性化協議会、神野地区自治会、そして湊地区活性化協議会があり、それぞれが地域の特質を生かした活動を進めてきています。

湊地区活性化協議会は結成以来、旧湊小学校と連携した湊の歴史遺産のマップの作成、チェーンソーアートの設置などに取り組んできました。また、地元のイベントにも協賛団体として「カキ・魚祭り」・「すいすいビーチナイトカーニバル」等への参加や各地域要望のとりまとめ窓口としても事業を進めてきました。

私たちは、湊地区の歴史や古くから培われてきた文化、伝統などを大切にしながら、湊地区をより住みやすい、安全・安心な地域にする歩みを踏み出していかなければなりません。そのためには、この地域に生活するすべての地域の皆さんが、将来に希望の持てる地域づくりを進めていくことが大切になります。他人事ではなく、自身のこととして考え、行動をすることが望まれます。

平成25年に行ったアンケートには、地域の皆さんの切実な願いや将来への不安や希望が率直に示されています。

湊地区でも湊小学校の学校再配置による閉校などに象徴されるように、少子高齢化が急速に進み生活環境もおおきな変化が進行してきています。

湊地区を活性化させるための一つの道しるべとして、「湊地区 地域づくり計画」を策定しました。活性化協議会の組織は、運営方法や構成を含めまだまだ解決していかなければならない課題を多く抱えています。しかし、活動の主体となるのは地域住民の皆様お一人お一人です。

湊地区住民の皆さんが一丸となって参画し、住みよい地域づくりを進めていきましょう。

1 湊地区の現状と課題

(1) 湊地区の概要

湊地区は、箱石、葛野、湊宮、大向、河内、蒲井、旭の7つの行政区から構成されています。東は、網野町浜詰に接し、西は兵庫県に接し、南北は久美浜湾と日本海に面した地域です。

砂丘を活用した農業が主な中心産業である箱石・葛野地区、日本海や久美浜湾を生かした漁業を中心とした湊宮・大向・河内・蒲井・旭と大別することができます。

一方、昭和40年代からは全国的にも「観光ブーム・レジャーブーム」となる中で、地域の自然環境を生かした観光業（民宿・旅館・遊漁船等）も取り組まれてきています。

平成22年10月には、日本で4番目となる山陰海岸ジオパークとして世界登録され、その一部を形成している全国的にも屈指のロングビーチ、波静かな久美浜湾、それと対照的な蒲井から旭にかけての海岸線は、全国的にも指折り数えられる景勝地、自然環境を有している地区であるといえます。

(2) 湊地区の今日

平成16年4月京丹後市となったときの湊地区の人口は、1306人でした。平成26年2月の人口は、1145人となっています。およそ10年の間に12.4ポイントの人口減となっているのです。

世帯数を比較してみると、平成16年4月では402世帯であったものが、十年後の平成26年2月では420世帯と増加をしています。

人口は減少しているにもかかわらず、世帯数は増加しているということは一面喜ばしいことであるといえますが、独居世帯、核家族化の進行がその背景にあると考えることができます。

また、昭和49年には31万人の海水浴客が湊地区を訪れ、地域のにぎわいをもたらしていました。ところが、平成25年の海水浴客は5万6690人と往事の18ポイントまで激減をしています。

一方、138年間湊地区の人材育成を担ってきた湊小学校が閉校となりました。さまざまな意味で、湊地区の求心力となっていた学校が地域から姿を消したことにより、地域の行事に子ども達が参加をしたり、学校行事に地区民が参加をしたりする機会がなくなり、地域から子ども達の声が消えました。

レジャーの多様化や価値観の多様化、情報化が急速に進んでいる今日の社会のなかで、湊地区をより魅力的なゾーンとして全国に発信し、I・J・Uターンをする人々

を一人でも多く確保していくことが大切になってきています。

(3) 暮らしづくり 住民が安心して健全に生活するために

この数年の間に、湊地区の生活環境は大きな変化を見せています。私たちの身近な生活を支えてきた生活用品を販売するマーケットがなくなり、ちょっとした買い物をするにも地域外に出なければならなくなりました。アンケートの中にも「店が少なく、買い物が不便」とか「商店がなく活気がない」などの声が多くあがっています。

一方、高齢化が進むなかで、「年寄世代が増えて、地域で面倒を見られなくなるのでは」などという深刻な意見も寄せられています。

地域の人口の減少や高齢化は、商工・サービス業の担い手不足となってきています。

このため、住民が安心して健全に生活するためには、IJUターンなどを関係機関と協力・連携して推し進めることが大切になってきます。京丹後市でも農家民泊、漁家民泊などを行うとともに、空き家等を有効に活用することによって、地域を盛り立てていく定住促進策など知恵を出し合う中で進めていく取組を進めようとしているところです。

豊かな海の恵みを活用した、「雇用の場と住居の確保」の施策を推し進めていくことによって、地区に活気を生み出すことが望まれます。

(4) 湊地区の恵まれた資源活用 地場産業（農業・漁業）の開発と育成のために

湊地区は、砂丘を活用した「砂丘農業」と久美浜湾における養殖漁業など、恵まれた自然を活用した産業が行われてきています。

砂丘を活用したメロン・甘藷・トマトや長芋等の栽培は、砂丘という特質を生かした作物として社会的にも認知され、ブランド化も図られており、これからいっそう伸びていく要素を持っているといえます。

一方、全国的にも特異な久美浜湾を活用したカキ養殖は、多くの固定客や来湊客をよぶ大きな要因の一つとなっています。今日では、カキ養殖にとどまらず若者を中心としたとり貝・赤貝などの養殖なども行われ、久美浜湾を利用した漁業は大きな将来があるとも言えます。湊地区の良さとして、「海・海産物（特に、牡蠣、カニ）」とか「海と海の幸、畑の野菜」などが多くの地区民の方の思いとしてあります。

また、その豊かな自然と地場産業を生かした観光業の推進を図っていくことが課題として挙げられます。素通りの観光から、久美浜湾や砂丘農業をいかした滞在型の観光を創意工夫して作り上げていくことが大切になってきています。

(5) 住みよくて活気があり、にぎやかな地域にするために

湊地区を住みよく活気があり、にぎやかな地域にするために重要だと思われることはなんですかというアンケートに対して、生活基盤の整備が一番の関心事となっています。道路の整備、お店の振興、知りたいこと伝えたいことが双方向で機能するようなシステムづくりなどです。また、観光業の振興と漁業の振興も大切なこととして意識化されています。繰り返しになりますが、久美浜湾・日本海を活用した漁業と観光は一体のものとして考えることができます。そこに、砂丘農業ならではの体験農業等を組み入れることによって、地域に多くの観光客を呼び寄せることにもつながっていくと考えられます。また、閉校となった旧湊小学校跡地についても、その有効な活用を具体化していかなければなりません。跡地利用についても、貴重な意見が寄せられています。地域サロンとして地区のみんなが集える場所として、お店や市場の施設として、郷土資料館など文化的な施設やイベント広場として、活用していくことも考えられます。観光客の方が気楽に立ち寄ることのできる場所として、地域の方が集える憩いの場として活用することを進めていくとともに、将来を見通して旧湊小学校の建物の更地化等も勘案しつつ取組を進めていくことが望まれます。

そのためには、今まで以上に私たちが自ら村づくり、地域づくりを進めていくという意識を持ち行動していくことが大切なことになってきます。そこで、地域の課題や皆さんの思いを踏まえて、計画的に地域づくりを進めていく母体としての活性化協議会の役割は大変重要であると考えています。

湊地区では、それぞれの地域で様々なイベントや集客のための取組がなされてきました。それらの取組を相互に結び付け、地域を活性化し元気がでる地域づくりを進めていかなければなりません。また、この地区には多くの文化遺産が埋もれています。箱石区の遺跡、湊地区の五軒家の物語、大向地区の愛宕さんや「鬼の岩屋」、四神ガ嶽、旭にある「朝日長者」、千石船係留岩など、文化的・歴史的にも付加価値をもたらすものがたくさんあります。それらを有効に生かしていく事業を開発していくことも大切なことです。

(6) 赤ちゃんからお年寄りまでみんなで支えあう地域にするために

全国的にも人口減の方向にあるといわれ、少子高齢化が進んできています。人口減少により地域がさびれてきている」「高齢者は特に身辺が貧しく、急な場合が心細い」などの声もアンケートの中にあがっています。二世帯・三世帯同居の割合は、約6割を占めていますが、単身、夫婦のみの生活をされている方が、4割あるということを深刻にとらえることが大切であるといえます。

「みなとっこ」や「いきいきサロン」などの取組が行われてきています。子育ての悩み等を交流しあったり、ヒントやアドバイスを見つけ出したりし、湊の子どもとしてみんなで子育てをしていこうという一つの形態であるといえます。また、いきいきサロンは、孤立しがちな後期高齢者の方や独居老人の方を中心として、生きがいを見つける場として機能しています。

地域として、子育て等にストレスや悩みを抱えている方への支援策を講じていくことが大切です。その意味では、みなとっこの活動を、地域みんなで支えるものにしていかなければならないでしょう。また、高齢者が健康で充実した日々を過ごせる、培った知恵と経験を発揮できる場などを充実させていくことが望まれます。

2 湊地区の将来像

若者が夢の持てる地域 みんなが支えあい暮らしやすい魅力ある地域

湊地区の歴史的遺産・文化・豊かな自然を生かし、夢と希望がもてる地域を創り出す。

3 計画の期間

このまちづくり計画は、豊かな自然を活用し、住民が心豊かに充実した毎日を過ごせる地域づくりを実現するために必要な期間として10年間を設けます。ただし、急激な社会変化が進行している今日では、社会経済情勢等の変化や住民のニーズの変化等に対応するため、必要に応じて見直していきます。

4 振興方針項目

若者が将来への展望を持ち、定住する魅力ある地域づくり

みんなが支えあい高齢者が暮らしやすい地域

をめざした次の施策を実施していきます

(1) くらしづくり

住民が安心して健全に生活するために

(2) 湊地区の恵まれた資源活用

地場産業（農業・漁業）の開発と育成のために

(3) 地域づくり

住みよくて活気があり、にぎやかな地域にするために

(4) 協働して 夢と希望が持てる地域

赤ちゃんからお年寄りまでみんなで支えあう地域にするために

5 振興方針を具体化するために

(1) くらしづくり

住民が安心して健全に生活するために

地域の安心・安全に関すること、関係機関との連携、生活の安定に関すること、
人権に係わること

ア 観光地としての側面から見ると、湊地区の道路の拡幅・改良については促進を進めていく大きな課題です。湊宮住民の長年の懸案であった「東回り線」の拡幅は、具体化されようとしています。残る「西回り線」の拡幅については、市行政等関係機関との連携のもとに、土地権利者の理解を得る取組を強化し、観光地としてふさわしい道路網の整備を進めていきます。

葛野地域から河内地区まで湾岸歩道を整備することによって、蒲井地区や旭地区へのルート拡大も可能となり（サイクリング、ハイキング等）景観を観光産業として生かすことにもつながると考えられます。

イ 冬季に日本海からの季節風は、砂浜の浸食及び砂の飛散をもたらし、安心・安全な生活を送るための支障となっています。浸食防止のための消波堤の整備・補修等を見越していきます。

ウ 地域のサロンとして、また、地域のイベント等に活用できるよう旧湊小学校跡地の有効活用を検討していかなければなりません。

エ 避難場所として、旧湊小学校本館、体育館が指定されていますが、地震、とりわけ津波等から住民の生命を守るための避難棟等の設置や適切な避難場所の確保を市行政との連携のもとに、関係機関に働きかけていきます。

オ 限界集落解消，集落の活性・定住人口の増加を図るために，私有地の農振地域の大幅解除及び国立公園内にある私有地の活用について，国立公園の解除を含めて要望をしていきます。

カ 国立公園内，箱石遺物包含地の立ち枯れ樹木の処理と防砂林・防風林の役目を果たす植林を進めていきます。

キ 久美浜湾港の埋め立て地の活用をしていきます。

ドクターヘリ発着場として

多目的広場として（イベント等で使用）

（２）湊地区の恵まれた資源活用

地場産業（農業・漁業）の開発と育成のために

豊かな水産資源，農業資源を活用して，地域のにぎわいへとつなげていきます

ア 恵まれた高品質の農産物が収穫されているにもかかわらず，知名度がさほどないため付加価値が高まっていません。（琴引きメロンと比べると）

砂丘地を有効に活用し，品質の高い農産物を特化，差別化する取組を進めていきます。そのためにも，農業団体，営農者との連携を図り，湊地区の農業のさらなる振興を図っていきます。

イ 採る漁業から育てる漁業への転換も始まってきています。（ヒラメの養殖・カキ・とり貝等）

久美浜湾の特質を生かした養殖漁業を，地域を訪れる観光客等へのもてなしとしていきます。

また，久美浜湾の地理的特質を活用した釣り堀，海上食堂等は，地域を訪れる観光客に強い印象を持っていただくことに繋がります。

ウ 湊地区の歴史的・文化的・自然的条件を生かし，シーカヤックを使っのツーリングカヌーや湾岸商用施設等との連携のもと，久美浜湾・ジオパークの一環でもある日本海の海岸線を提供する事業を支援していきます。

エ 旭港は、古来より料地米、上納米の積出港として栄えていました。湾内には、千石船を係留していた自然石を加工したもやい石も残っており、また、朝日長者屋敷跡もあります。歴史的遺産として、観光面からの活用をしていかなければなりません。

オ 「海の京都事業」「コミュニティビジネス」「京都府地域力再生プロジェクト支援事業」など、北部地域、漁村地域等を活性化するための様々な取組が計画されています。事業を推進していくための交付金も見込まれるものです。湊地区を活性化していくうえで、必要かつ望ましい事業については積極的に進めて行きます。

「海の京都事業」をきっかけとして、湊地区を特化する取組も計画をされています。湊地区の豊かな水産物等を使った「漁師めし」（仮称）や湊地区の観光ガイドマップ、久美浜湾の漁船クルージング等、眠っている資源を有効活用していかなければなりません

地域活性化を推進することに繋がる種々の事業を実施するに当たり、立地条件の面でも恵まれているぎょそんセンターの有効利用をすることによって、地域の人材の活用・地域のにぎわいづくりの「センター」的役割を持たせていきます。

また、住民の交流の場・憩いの場・会議・打ち合わせの会場としてなど、ぎょそんセンターが地域を活性化させる核としての機能についても多くの提言をいかして、地域のにぎわいづくりを進める拠点として、ぎょそんセンターの活用を計画していきます。

(3) 地域づくり

住みよくて活気があり、にぎやかな地域にするために

ア 人が集まる中心軸の一つであった湊小学校が閉校となり、地域から子どもの声が聞こえない時間が増えてきています。今更ながら、地域から学校がなくなったことの重みを感じさせています。

旧ランチルームを高齢者や子育て真っ盛りの人たちが集い、語らえる場所として活用していきます。

イ 立ち抛り所として、湊地区の今昔や久美浜湾を紹介する「資料館」を整備し、地域住民のみならず観光客等が訪れ、交流できる場を確保していきます。

ウ すいすいビーチナイトカーニバル、カキ・魚祭りは、湊地区の風物詩として定着をしてきています。湊地区の魚・カキ等の海産物や砂丘メロン・甘藷等の農産物を提供することによって、就労者が展望を持てる事業としていくことを進めていきます。

エ 湊地区区長会、湊地区公民館と連携し、住民が互いの交流を深め、生甲斐や憩いが持てる事業を推進していきます。

オ 区長会、公民館、活性化協議会のそれぞれの持ち場と組織の特長を生かして、他地区や市行政との連携を保ち、双方向の取組を工夫していきます。

一区・かぶとやま地区・神野自治会との連携

カ 湊地区の個別の集落課題や取組について交流し、それぞれの地域課題の解決に向けた協働的取組を進めていきます。

(4) 協働して 夢と希望が持てる地域

赤ちゃんからお年寄りまでみんなで支えあう地域にするために

ア 「湊地区をよりよい地域にするためには、どのような活動を行ったらよいと思いますか」という問いかけに対して、15%の方が「子ども・お年寄りへの支援」をあげています。

湊地区には、50名余りの乳幼児がおり、90名の児童・生徒を合わせると140名にものぼる将来の担い手がいます。

子どもクラブ、勉強会、お泊り会など子どもの健全育成に係る取組を行ってほしいという願いもアンケートにはあげられています。

全国的にも、高校生・中学生・小学生を対象として、地域で学習する取組を進めようとする動きもあります。湊地区区長会とも連携しながら、子育て支援の取組を進めていきます。

イ 湊地区の人口は、1140名余りですが、そのうち470名が70歳以上の方方で、その割合は約40%を占めています。(データは平成26年9月現在)

現在、民生委員を中心として実施されている高齢者を対象とした「いきいきサロン」活動は、参加している高齢者にとっては生きがいをもてる活動となっ

ています。ここ数年の活動を通して、福祉施設への「慰問」や文化祭、高齢者大学等で発表する機会が増え、日々の生活の中によい緊張感と張りを持たせるものとなってきています。

旧湊小学校のランチルーム跡を恒常的にお年寄りの立ち拠り所として活用し、そこにいけば話し相手がいて、安らぎと憩いの場となるようにするなどの工夫をしていかなければなりません。

お年寄りと子育て真っ最中の若いお母さん達とふれあえる時間と場所を確保し、お年寄りの知恵や経験から学ぶことができる〈サロン活動〉へとつなげていき、地域ぐるみで子育てをする湊地区へとしていきます。



湊地域づくり計画に添付するための【各集落の整備計画】

事業区分	事業内容または事業要望	事業実施箇所（要望箇所）	具体的な内容 (計画していること、必要と思われることをできるだけ具体的に記入)
道路整備 農道整備 林道整備	中泊の道路補修 豊岡市田結への道路新設 旭神社裏山の里道にフェンス設置	中泊波止付近 旭区内 旭神社裏山里道	舗装がめくれ陥没している箇所の補修 区の振興を図るため豊岡市田結までの道路を新設する 道路斜面工事時里道脇まで削られ危険な状態にあるためフェンスを設置する
河川整備 水路整備 港湾整備	枯れ松の伐採 旭港内の浚渫 旭港の浚渫 防波堤の修繕 防波堤の新設	旭港船着場 旭港 排水口付近	山の松が枯れており船着場に倒れてくる可能性があるため伐採する 港湾内が浅くなってきたため大波の一因になっているため浚渫する 排水口付近の土砂を撤去する 防波堤の下部に穴があいているため修繕する 湾内の多目的利用、風波から漁船・集落を守るためオレクリに防波堤を新設する
産業基盤整備	側溝の溝蓋の設置 波消ブロックの設置	西中氏宅前付近 大江氏宅から木下氏宅付近 中田氏小屋前付近	区内生活環境向上および道幅拡張のため 大波時に砂・石等が道路上がり防止のため
施設整備	海産物加工施設の新設 朝日港説明盤の再設置 手すりの設置	旭地内中泊 旭港付近 墓地の階段	海産物加工や貸カヤック事務所、黒アワビ養殖場等を行う施設を新設し旭・蒲井の活性化の柱としたい 「朝日港」の由来の説明看板が風雨により破損しているので再度設置する 墓地は高台にあり津波警報時の避難場所として検討しており階段に手すりを設置する
生活環境整備	市バスの延伸、増便 防犯灯の設置	旭区 旭神社側区内入口付近	二区環状線河内からの延伸および増便を要望する 区内防犯のため防犯灯を設置する
その他			

湊地域づくり計画に添付するための【各集落の整備計画】

事業区分	事業内容または事業要望	事業実施箇所（要望箇所）	具体的な内容 (計画していること、必要と思われることをできるだけ具体的に記入)
道路整備 農道整備 林道整備	河内区内道の舗装 側溝の新設 コンクリート 区内道の修繕	河内区内（林治氏～田中美喜氏 ～公民館 富川芳明宅（民宿富川）横から 大川まで 市道小峠道 富川文明宅下増田清宅横作業 場付近 市道より上流 河内公民館横市道沿い えのくより～大川へのバイパス （消防道路横） バイパス横の水田	河内区内道舗装ひび割れ古くなり痛みが激しい。 富川宅前市道～公民館まで側溝がない。生活排水が田へ入り込む 雨が降るたび土が流れる為前は一部のみ舗装だったため再要望 コン及びメッシュ 道路側面（石崖）の痛みが拡大しうちに修繕して下さい。 川底に草が生え台風の時など氾濫する。 暗渠が長く落葉が流れ込み詰まりオーバーフローしてしまうので側溝 に変えて掃除が出来るようにしてください。 大雨の時河内区内川の水が溢れる。
河川整備 水路整備	河内川の浚渫 側溝整備 水路新設		猪・鹿の被害が多くメッシュ柵及び支柱を要望（約300m） 平成26年米約50アール収穫なし被害増加のため （河内区全体の農地約4,000m分）
産業基盤整備	メッシュ柵 支柱		
施設整備	河内区公民館新築工事 作業場新築工事	河内区公民館 作業場	築40年過ぎ 老朽化しているため 築60年過ぎ 屋根も一部雨漏りしているため
生活環境整備			
その他	水道整備 除雪機の借入	河内区内 河内区内道2降組3降組市道	地区の道路設備も古く市水道整備要望（早く） 3組市道市からの除雪してもらえないため緊急時の病気、火災等80 歳以上の世帯も2軒あり地区で機会を借り除雪し、道の確保をした い為。

河内区

湊地域づくり計画に添付するための【各集落の整備計画】

事業区分	事業内容または事業要望	事業実施箇所（要望箇所）	具体的な内容 (計画していること、必要と思われることをできるだけ具体的に記入)
道路整備 農道整備 林道整備	市道葛野水源地線のコンクリート舗装の修繕	葛野区内	市道葛野水源地線のコンクリート道路の一部が破損しており通行に支障があり修繕をお願いしたい。
河川整備 水路整備	佐濃谷川の土砂浚渫	葛野区内	佐濃谷川下流部に大量の土砂が堆積しているため防災対策として早急に河川土砂浚渫の実施をお願いしたい。
産業基盤整備			
施設整備	消火栓ホースの更新	葛野区内	区内に23ある消火栓BOX内のホースの痛みが激しいためホースの交換 10本
生活環境整備	道路の仮舗装	すずらんから岡野勝宅までの道路	市道部分が未舗装のため、水たまりができホコリが舞い生活に支障が出るので仮舗装をお願いします。
その他			

葛野区

湊地域づくり計画に添付するための【各集落の整備計画】

事業区分	事業内容または事業要望	事業実施箇所（要望箇所）	具体的な内容 (計画していること、必要と思われることをできるだけ具体的に記入)
道路整備 農道整備	側溝の改修 橋の改修	橋本進一宅前 大谷道の橋	溝が破損し土管へ水が流れない。 コンクリートの道路が破損し通行に危険。
河川整備	大谷川改修	大谷川	近年集落より上流は改修していただきましたが、集落内川床の侵食がはげしく側面の石垣の基礎が出ていて崩れる危険がありますので、底入れをお願いしたい。
産業基盤整備	海水浴場（海岸）の整備	蒲井海岸	毎年、浜の砂が無くなり、特に夏場、海水浴シーズンに困っている。 シーズンには砂を入れていただきたい。特に本年はひどい（砂の侵食）
施設整備	交通安全施設整備	久美浜気比線	概設のミラーが長年使用により破損、へこみ等により視認が悪く安全面に支障をきたすため。空下～蒲井峠頂上1箇所
生活環境整備	街灯の設置	府道空下～蒲井村入口	26年8基設置していただきましたがあと5基ほど設置してほしい。
その他	市営バスの延伸	二区環状線	地区内の高齢者等の久美浜病院、商店への利便を図るため河内より延伸を要望します。

湊地域づくり計画に添付するための【各集落の整備計画】

事業区分	事業内容または事業要望	事業実施箇所（要望箇所）	具体的な内容 (計画していること、必要と思われることをできるだけ具体的に記入)
道路整備	市道大向区内の修繕工事	妹山氏宅～金樹氏宅間	区民におきましては生活していくうえの重要な道路であり壁の改修をお願いします。
	市道大向区内線崩落箇所の復旧及び改修工事	集会所～廣峰神社前の間 水戸口横の大向側道路 (大向～蒲井～旭線)	道路の拡幅と側溝の改修工事（雨水等のもれ） 道路水路側に亀裂、陥没が発生。早期に着手お願いします。
	大向区道路の縦向U字溝のゴム取替え	大向区内（通称ウラオモテ又は ショウヤグラ）（市道大向～蒲 井・旭線） 大向区内道路	台風がもたらした豪雨によりかねてより懸念していた崩落危険箇所が 崩れ落ちてしまいました。区内道路でもあり、遊歩道でもあり早期の 復旧が必要と思われます。 大向区内道路縦向きU字溝グレーチング下にあるゴムの取替え、車が 通るときに音がる。
河川整備 水路整備			
産業基盤整備			
施設整備	大向展望台の改修並びに雑 木伐採等による周辺の整備 及び展望台道路の改修工事 大向区内バス停留所に待合 所	大向展望台並びに、その周辺 大向区バス停	大向展望台は、ジオパークの中でもあり、また海岸線並びに周辺の展 望もみごとに美しいものがあります。整備しだいでは、観光の名所と なり地域の発展につながるものと思います。 大向区バス停留所に屋根付きの待合所を設置していただきたい。
	カーブミラーの設置工事 船引場の街灯の増設 歩道橋のタイルを直す	大向集会所の前のカーブ市道 大向区内上地線 大向区船曳場 歩道橋	現道の幅が狭く、見通しが悪く大変危険なため。 船の船外機を盗む人がいるとこのことで周辺を明るくして、自衛策とし たいので船引場の街灯を増設していただきたい。 歩道橋のタイルがはがれているので直してほしい。
その他			